

パターン①

A is B

(A は B です。)

①プラスα

I think that ~ ①

(① ~ と思う。)

例文① 学校の授業で好きな科目を聞かれた場合・・・ what is your favorite subject?
・ My favorite subject is math
(好きな科目は数学です。)

例文② 日本の食べ物について聞かれた場合・・・ what do you think about japanese food?
・ I think that japanese food is interesting
(日本食は興味深いものだと思います。)

パターン②

I want to ~ (動詞の原型)

(私は ~ したい)

②プラスα

I want to be (A)

(A になりたい。)

② 動詞の原型によく使われる単語

(study・勉強する go・行く practice・練習する introduce・紹介する teach・教える)

※プラスαの文末に in the future (将来) をつけると単語数を稼げる。

Aによく使われる単語 (doctor・医者 ○○teacher・○○の先生)

パターン③

It is ○ for □ to △ (動詞の原型)

(△ することは □ にとって ○ だ)

③プラスα

It is ○ for □ to do + (名詞)

(名詞 することは □ にとって ○ だ) home work など・・・

※プラスαでは It is important for me to do my best. とすれば多くのパターンで使える。

○によく使われる単語

(easy・簡単 difficult・難しい interesting・興味深い important・大切)

□によく使われる単語

(me・私にとって him・彼にとって her・彼女にとって)

△によく使われる単語

(study・勉強する try・試す eat・食べる practice・練習する)

モノマナビ研究所

パターン④

○ make (s) □ △ (○は□を△にする。)

(前の文章を受けて・・・)

④プラスα

It makes me happy (それは私を幸せにする。)

※例 I like sushi → It makes me happy

- によく使われる単語 (It・それ △にするもの全般)
- によく使われる単語 (me・私を him・彼を her・彼女を them・彼らを)
- △によく使われる単語 (happy・幸せにする sad・悲しませる excited・興奮させる)

未来のことを書く

パターン⑤

I am going to ○□ (□を○する予定です。)

- ※ I am going to study **hard** (懸命に勉強するつもりです) のように□は副詞でもよい。
- ※ am going to のかわりにwillを入れることはできるが文字数が少なくなる。

- によく使われる単語 (study・勉強する go・行く eat・食べる practice・練習する)
- によく使われる単語 (English・英語 goのあとの場所 hard・懸命に)

意見を求められる英作文のとき

パターン⑥
賛成

I agree with this opinion (私はこの意見に賛成です。)

パターン⑥
反対

I disagree with this opinion (私はこの意見に反対です。)

※問題によっては with の後に人物名や具体的な内容が入る。

選択肢がありその中から選ぶとき

パターン⑦

I like ○ (○ が好きです。)

質問

Which season do you like in Japan?
あなたは日本でどの季節が好きですか？

解答

I like summer
夏が好きです。